

地域おこし協力隊通信

私たちの仕事!!

地域おこし協力隊の一員となって半年。
5人のメンバーがこれまでの活動を振り返ります！

折原 英明 さん



フェイスブックやインスタグラムなどSNSでの地域情報発信を重点活動として行っています。例年ならイベントが盛りだくさんですが、今年はコロナ禍で中止され、難しい部分もありますが、観光地やSNSをやっている事業所の情報をシェアしつつ、地域情報を発信しています。

商工会では「あつまり商品券」と「コロナウイルスワクチン職域接種」という2つの大きな事業があり、どちらも町の経済活性化に大切な事業ということで実務をサポートしました。緊急事態宣言などもあり、なかなか思い描いた活動とはなっていませんが、今後はより町の人や事業者との交流を増やし、洞爺湖町の魅力や価値を知ってもらえる情報発信をしていきたいと思っています。

中川 知香 さん



配属されたとうやマルシェは、町の食材のおいしさを広めることを目指しています。最も力を入れている情報発信では、3点を特に大切にしています。一つ目は、町の食材を知ること。最初の3カ月はとにかく食材に触れて生産者の話を聞きました。二つ目は、一眼レフで食材の写真をきれいに撮影し、加工まで徹底すること。三つ目は、魅力が伝わるようにメニューやポップなどをデザインすることです。

以上を大切にすることでSNSのフォロワーや料理のテイクアウトが増え、ふるさと納税に新規追加した食材も寄付が伸びています。町の食の豊かさをマルシェでの活動を通じて知ってもらい、町に来る人を増やすことが、私の活動を支える考えです。

佐川 千明 さん



地域おこし協力隊として、とうや水の駅を拠点に活動を始めて半年が経ちました。相変わらず、すぐそこにある洞爺湖の美しさに癒される日々です。景色だけではなく美味しいものや素敵なお店など誰かに教えたくなる穴場スポットがいくつもある洞爺。そんな洞爺の魅力に触れながらもっと多くの人にこの洞爺エリアを知ってほしいとSNSなどを通して発信してきました。

なかでも農業に初めて触れた私はその奥深さに魅了され、収穫を体験したり、生産者の声を聞くことで「たくさんの人に洞爺の野菜やお米を食べしてほしい」という思いが強くなりました。今後は更にアクティブに動き、さまざまな角度から洞爺の魅力を発掘して発信していけたらと思います！

新海 里織 さん



道の駅あがたでは、店内業務のほか、出品農家さんの畑を訪ね取材していました。そこで伺った話しをもとに、商品のポップを作成したり、SNSを通してインターネット上に掲載しました。また、農家さんから教わった旬野菜のレシピを実際に自分で作りお客さんへも紹介しました。

先日、着任のあいさつをしたばかりですが、このたび地域おこし協力隊を退任することになりました。以前から患っていた種子骨障害の経過が思わしくなく、医師からの助言もあり退任を決断しました。コロナ禍という制限がありましたが、道の駅あがたでは町民や観光客の皆さんとの温かい交流がとても心に残っています。また、実際の作業に取り組みなかったものの、農業に関わったことは私にとって大きな出来事でした。短い期間でしたが、出会った皆さんの優しさにいつも支えられていました。本当にありがとうございました。

室田 崇行 さん



洞爺湖漁業協同組合に配属されてすぐ、ワカサギ漁と産卵で湖岸に寄ってくるワカサギを漁獲し採卵を行いました。毎日のように漁に出て、日々変わる洞爺湖の状況を感じ取ることができました。春のワカサギ漁が終わわり間もなくすると、ヒメマス漁が開始。今年はヒメマスが豊漁で、漁師さんが毎日笑顔だったのが印象に残っています。

そして秋はサクラマスの遡上が始まり、採捕と採卵を行いました。洞爺湖のサクラマスは70cmほどの大きさがあり、とても大型で驚きました。この半年間、どの作業も初めてで不安もありましたが、組合員のみなさんが優しく教えてくださり、楽しく活動することができました。

【地域おこし協力隊の取材に協力を】

地域おこし協力隊は、SNSやホームページで洞爺湖町の情報発信を行っています。新商品や新サービス、地域イベント、地域貢献の取組みなどの情報をお待ちしています。

< 洞爺湖町地域おこし協力隊 Facebook ページ >

<https://www.facebook.com/toyako.chiikiokoshi>
取材にご協力いただける人は、toya.chiikiokoshi@gmail.com までご連絡ください。